

令和5年
伊豆市議会9月定例会

一 般 質 問

令和5年9月

令和5年伊豆市議会9月定例会一般質問者と質問事項

8月30日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	6. 下山 祥二	1 修善寺駅周辺を基点とする今後のまちづくり	市 長 教育長	1
		2 水道事業の課題とその対策	市 長	2
2	15. 永岡 康司	1 ソーラー発電事業計画と訴訟について	市 長	3
		2 大規模自然災害発生時の対応について	市 長 教育長	4
3	14. 三田 忠男	1 令和4年度決算を踏まえた、来年度予算の編成方針	市 長 教育長	5
		2 温泉病院移転後のバス路線再編について		
		3 伊豆市の生活上の現状把握について		6
4	8. 星谷 和馬	1 総務経済委員会所管施設について	市 長	8
5	5. 黒須 淳美	1 市内小児科の現状に対する市民の不安について	市 長	10
		2 修善寺駅の防災対策と駅周辺における安心安全のための連携促進について		11

8月31日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	1. 小川多美子	1 在宅医療について	市 長	12
7	7. 杉山 武司	1 若年層の選挙の低投票率の改善を考える	市 長 選挙管理委員長 教育長	14
		2 外国資本の市内の土地の買収実態は	市 長	16
8	16. 杉山 誠	1 支え合い助け合うことのできる地域社会の構築に向けた取り組み	市 長	18
9	2. 浅田 藤二	1 市内経済の循環について	市 長	20
		2 部活動の地域移行について	教育長	21
10	12. 小長谷 順二	1 減災効果を高める地震・津波対策（アクションプログラム 2013 の成果）	市 長 教育長	22
		2 個別避難計画の策定状況	市 長	23

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年8月14日

伊豆市議会議長 様

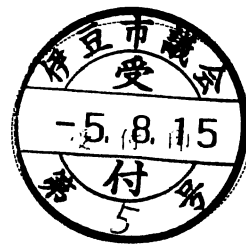
議席番号 6番 議員名 下山 祥二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括 分割) ※発言予定時間 (20分・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
1. 修善寺駅周辺を基点とする今後のまちづくり	<p> 本年7月20日開催の全員協議会において「修善寺駅周辺まちづくり基本構想」の説明がありました。修善寺駅は伊豆半島の中心に位置する「伊豆のへそ」であり鉄道の玄関口です。今後の伊豆市のみならず、伊豆半島南部の未来をも大きく左右する一大プロジェクトといっても過言ではありません。修善寺駅周辺地区のまちづくりは5年～10年先を見据え、修善寺橋の改良(拡幅)は20年先を見据えた構想であると説明がありました。伊豆市の玄関口である修善寺駅周辺の慢性的な渋滞が、一日でも早く改善され、日々のストレスから解放されること、住民の安全や利便性が確保され、賑わいの創出により若い世代がずっと住み続けたいなるまちづくり、移住希望者がさらに伊豆市に移住したくなる未来志向のまちづくりに期待して次の質問をします。 </p> <p> ① 現状の修善寺駅周辺の具体的な課題と、まちづくり基本構想の目的およびこの構想に期待する効果について伺います。 </p> <p> ② 現時点で、修善寺駅周辺の皆さんや移転される可能性のある住民の皆さんの反応は、どのように捉えているか伺います。 </p> <p> ③ 横瀬付近の国道136号、県道伊東修善寺線、熱海大仁線、修善寺天城湯ヶ島線とのアクセスについて、現状の課題とその対策をどのように考えているか伺います。 </p> <p> ④ 新中学校の開校まであと一年半、当然の如く修善寺地区の小中学校再編も視野に入れ、交通安全対策も施されるまちづくり基本構想だと推察するが、現状ではどのような課題を抱えて </p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 水道事業の課題とその対策	<p>いるか、またその対策についてお聞きします。</p> <p>⑤ 多くの市民が不便を感じ、長年の課題であった修善寺駅周辺の大改修により、修善寺駅周辺の賑わいが創出されることを大いに期待しますが、具体的な構想はどのように考えているか伺います。</p> <p>⑥ 短期、中長期の整備構想です。早期着手早期完成を目指してほしいと期待します。今後のスケジュール感と市民説明について伺います。</p> <p>本年7月13日、常任委員会の行政視察で岩手県矢巾町に行ってきました。視察目的は「フューチャーデザインによる水道料金の改定」という調査項目でした。矢巾町政策推進監兼未来戦略課長、同時に岩手県立大学客員准教授である吉岡律司氏からの矢巾町の取組みの詳細説明を聞き、改めて当市の水道事業の現状を市民や市内事業者の皆さんと共通認識をもち、未来に向けて先延ばしに出来ない、重いインフラ整備の改修に取り組むべきであると考え次の質問をいたします。</p> <p>① 当市の水道事業の現状、特に水道管の維持管理および経年劣化に伴う改修状況について伺います。</p> <p>② 今後20年、30年先を見据えた場合、当市の水道事業の進むべき方向性と、そのための課題と対策について伺います。</p>	市 長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5 年 8 月 1 5 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 5 議員名 永岡 康司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括・ 分割) ※発言予定時間 (20分・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	答 弁 を 求める者
1 ソーラー発電 事業計画と訴訟に ついて	市長
<p> 令和 3 年 9 月議会において、伊豆市八木沢西浜区発電事業計画について質問しました。当時の当局の説明と質疑を再確認しながら、質問したいと思います。 </p> <p> 現在、八木沢西浜区の一部を囲むようにソーラー発電施設の設置が計画されています。 </p> <p> 令和 2 年 9 月から令和 4 年 4 月までの間、4 回の説明会を開催しましたが、事業者の説明に到底理解することができませんでした。西浜区の役員は、このことから「伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」第 8 条の手續に関して訴えられ、多額の弁護士費用もかかります。 </p> <p> 私は、このような不条理が許されるとは思いません。 </p> <p> ここで、この条例について、次の質問をいたします。 </p> <p> ① この条例の制定の目的を確認します。 </p> <p> ② この条例の第 8 条：事業者は事業に着手しようとする 60 日前までに(1)から(9)までの事業を届け出て、市長の同意を得なければならないとなっていますが、すべて必要ですか、確認いたします。 </p> <p> ③ この条例の小規模な太陽光発電は、不同意の対象にならない、その意味は。 </p> <p> ④ 不同意の対象とならないとは、何を意味しますか。 </p>	

件名	内容	答弁を 求める者
<p>2 大規模自然災害発生時の対応について</p>	<p>⑤ 小規模な太陽光発電は、不同意の対象になっても条例第8条は必要ですか。</p> <p>⑥ この条例の法的効力と法的規制はありますか。</p> <p>⑦ 不同意の対象とならないのに、同意しないことで住民を起訴することはできますか。</p> <p>⑧ この条例と、FIT法との関連をお聞きます。</p> <p>日本の国土は、地質・地層等の面で極めて厳しい条件下にあります。全国土の約7割を山地・丘陵地で占めており、世界の主要河川と比べ、標高に対して河口からの距離が短く、急勾配であり、降った雨は山から海へと一気に流下する。このような条件下で、梅雨や台風により大雨が降ることにより、洪水や土砂災害が発生している。</p> <p>近年、自然災害は激甚化傾向で大規模な被害により長時間の停電が発生し、停電復旧までの間、事業を継続するための備え(BCP)が重要となっています。</p> <p>BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害や経年劣化による受変電設備の不測の事態が発生しても、製品やサービスの供給責任を果たすために、重要な事業の継続又は中断しても早期に復旧するための備えを示した計画のことです。</p> <p>伊豆市としても事業継続対策はできていると思いますが、確認のため伺います。</p> <p>① 停電時の本庁と支所の情報交換の対策は取られていますか。</p> <p>② 新たな防災公園の長期停電時の対策は。</p> <p>③ 各公共施設に、太陽光発電パネルの設置計画は。 例として、庁舎・学校・避難施設・障がい者施設等</p> <p>④ 焼却場施設の発電システムの災害時の使用マニュアルはありますか。</p>	<p>市長 教育長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・ 分割) ※発言予定時間 (20分・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1.令和4年度決算を踏まえた、来年度予算の編成方針	<p>令和4年度決算と来年度予算について、以下伺います。</p> <p>① 令和4年度決算の成果と課題についての総括的な所感を伺います。</p> <p>② 市民との対話、各種団体要望、審議会等からみえてくる、まちづくり、市民生活等の伊豆市の取り組むべき課題や未来像についての、現状認識を伺います。</p> <p>③ 来年度予算の編成方針、重点施策の取り組みについて、伺います。特に、一番重点をおいて、取り組みたい施策については、具体的に詳しく説明願います。</p>	市長 教育長
2.温泉病院移転後のバス路線再編について	<p>本年12月1日開院予定の中伊豆温泉病院移転に伴い、バス路線の再編が伴うと予想されますが、以下伺います。</p> <p>① 直接影響のある現況路線の関係区からの要望・意見等の集約状況と内容について伺います。</p> <p>② 中伊豆温泉病院移転先の中伊豆地区、とりわけ下白岩地区、年川地区からの要望・意見等の集約状況と内容について伺います。</p> <p>③ 具体的な検討内容、収支状況、改善策、バス路線の再編案、バス停の廃止・移動・新設案、温泉病院敷地への乗り入れ、通学への影響等伺います。</p> <p>④ 新中学校開校時には更に、再編成があると予想されますが、新中学校との関連はあるのか伺います。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
3.伊豆市の生活上の現状把握について	<p>⑤ 地域公共交通会議のワーキンググループとして、旧4地区の市民会議を開催し、意見集約を行う必要があると思いますがいかがでしょうか。</p> <p>⑥ 伊豆市全体での、移動手段の利便性の向上と経費削減について、どのような検討がなされ、実行してきたのか伺います。</p> <p>伊豆市の現状把握のため、身近な事項についての確認を求め、対策等の現状を伺います。</p> <p>① マイナンバーカードの交付状況やトラブル発生状況等の現状や、対策等に伺います。</p> <p>② 教育現場での人材不足は起きていませんか、児童生徒への不適切事例はありませんか、働き方改革の改善状況はいかがですか。</p> <p>③ ヤングケアラーの研修が行われたとの新聞報道がありましたが、伊豆市の現状、研修後の支援策の検討状況を伺います。</p> <p>④ 健康診断の受診状況と、対応について伺います。</p> <p>⑤ 生活保護の給付率の推移と、窓口対応での課題は無いか、一人暮らし受給者への見守り等支援状況はいかがでしょうか。</p> <p>⑥ 聴覚が衰えた高齢者や難聴者等の窓口対応で困ったことはないか、対応はいかにしているか。</p> <p>⑦ 県の授産製品企業認定制度の認識と、以前質問した伊豆市として積極的な企業に対する入札等の優遇策の検討状況について伺います。</p> <p>⑧ 伊豆市の観光資源の稼働状況、入湯税の検討状況、増収策としての宿泊税等とトイレ改善、道草刈り等観光受け入れ環境の財源確保の検討状況。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>⑨ 伊豆市内のコロナ感染状況、ワクチン接種状況、対応への課題等伺います。</p> <p>⑩ 伊豆中央道と修善寺道路料金徴収 33 年間延長に対する、伊豆市民への負担軽減策の検討状況と課題について伺います。</p> <p>⑪ 新中学校開校に伴う、生徒・保護者負担の従来との比較で、負担増等生じているのか伺います。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月 15日

伊豆市議会議長 様

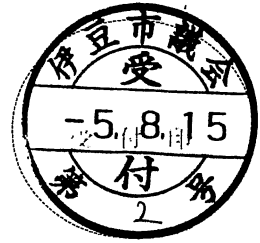
議席番号 8 議員名 星谷 和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① 一般質問 (一括・分割) 発言予定時間 (20分・30分) ② 質疑 ③討論 (反対・賛成) ④ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
総務経済委員会 所管施設について	<p>人口減少が進み、税収も減収、持続可能な伊豆市を維持するためには、観光客、インバウンド等を増加させる施策が必要です。伊豆市、伊豆半島全域が共に力を合わせ取り組み、実行することが重要です。</p> <p>総務経済委員会は、去る6月28日(水)所管施設3か所を視察しました。伊豆縦貫自動車道、萬城の滝周辺、だるま山高原です。</p> <p>① 伊豆縦貫自動車道は国の事業ですが、完成にまだ20年要するとのことでした。もう少し早期完成を目指すために、市はどのような対応をしますか？</p> <p>② 萬城の滝周辺</p> <p>とても静寂で自然豊かです。都会の人達にとってコンクリート社会から解放されて、オアシスではないかと感じられ、人気がジワリ、ジワリ増す予感がします。質問いたします。</p> <p>(1) 階段歩道の手すりに照明を設置、又滝をライトアップする意義は。</p> <p>(2) 萬城の滝、展望デッキ2か所設置必要ですか</p> <p>(3) 原保にオープンする、わさびの郷施設と共同で取り組む計画は。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
	<p>③ だるま山高原</p> <p>景色は抜群、日本一でしょう。</p> <p>レストハウス、ロッジ、キャンプ場を併用して近年はブームにのり、人気が増しています。</p> <p>質問いたします。</p> <p>(1) 毎年赤字決算、どうしてですか</p> <p>(2) 6月の定休日6回もあったが、なぜですか。</p> <p>(3) 売店に、地場産品がない。その理由は。</p> <p>(4) 収益を上げる努力、また課題は</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月15日

伊豆市議会議長 様

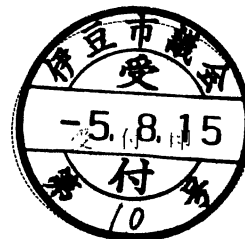
議席番号 5 議員名 黒須 淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 市内小児科の現状に対する市民の不安について	<p>伊豆市では、本年度予算の重点事業の第一番目に「少子化緊急対策」を掲げました。</p> <p>これは「出会い・結婚支援」「妊娠・出産支援」そして「子育て支援」の3本柱を軸とし切れ目のない支援を強化する内容で、これまでの取り組みを含め近隣市町と比べても、保育料無償化、出産準備金や不妊不育治療への援助など決して見劣りするものではなく、むしろ一步踏み込んだ施策であるといえるものと思います。</p> <p>しかし、これらの恩恵を一番身近に感じていると思われる子育て世代や、また子育てに関わっている祖父母世代の方たちからは、市の施策を評価しながらも、実際に出産後の子どもの病気などへの対応として「小児科が少ない」という不安の声を、ここ最近特に多く聞くようになりました。</p> <p>子どもの発熱などは急で夜間や早朝など時を選びません。そんな時に時間外でも対応していただく場があったらどんなに心強く安心でしょうか。小児科の新設も含め、情報発信の方法や、子育て世代への当事者目線での対応も必要ではないかと思い、次のことについて伺います。</p> <p>① 開院間近の中伊豆温泉病院、そして赤十字病院、中島病院や地域にある小児科医院などの現状について。</p> <p>② 現状における課題と情報発信について。</p> <p>③ 伊豆市における小児科のあるべき姿をどう考えますか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 修善寺駅の防災対策と駅周辺における安心安全のための連携促進について	<p>伊豆市の玄関口である修善寺駅は 2014 年(H26)に駅舎の建て替えが完了し、長年望まれていた駅の南側と北側が通路でつながったことで、通勤通学のみならず、多くの市民の利便性が向上しました。また、土産物店や観光案内所も整備され、駅舎内の開放的な空間と併せ、観光で訪れる方たちを気持ちよくお出迎えできているのではないかと考えています。</p> <p>もう 2 年前になりましたが、2021 年夏にはコロナ禍で 1 年延期された東京オリンピック 2020 大会の自転車競技が伊豆市で開催され、屋内競技では唯一の有観客会場となったこともあり、修善寺駅には県内外から多くのボランティアが集結し、伊豆市職員と共に観戦客の対応に汗を流したことが昨日のこのように思い出されます。</p> <p>また、日頃西口広場では各種のイベントが開催され、その都度地域住民のみならず駿豆線沿線からも多くの人が集う交流の場としても活用されています。</p> <p>このように修善寺駅は単なる駅という機能のみならず、地域と密着した多面性を持っている場でもあります。ここを実際どのくらいの人が利用しているか数字で見ると、コロナ禍前の 2019 年の 1 日の乗降客数は平均 4,592 人(伊豆市統計書 R3 年度版から)、また観光商工課が管理する観光案内所への来客数は 1 日あたり 152 人(R3 年度資料から/観光商工課)となっています。</p> <p>今後はコロナ禍の反動もあり観光客の更なる増加が見込まれます。豪雨や地震、事故などが起きた際の避難や救助体制の整備が重要になってくると思われませんが、駅周辺を含めた「縦」ではなく「横」のつながりを持った体制作りのために次の 2 点について伺います。</p> <p>① 観光案内所における災害時の対応はどのようなものか。</p> <p>② 災害時における駅前区との連携について。</p>	市長

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月 15日

伊豆市議会議長 様

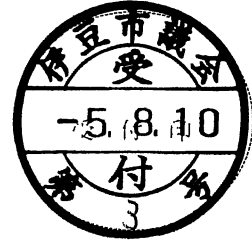
議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1.在宅医療について	<p>令和4年のデータでは、日本人男性の平均寿命は81.05歳、女性は87.09歳でした。人生100年時代といわれる現在、高齢者はますます多くなっていくでしょう。</p> <p>長い生涯のいずれの日か、誰もが人生の最期を迎える日は来ます。出来ることなら住み慣れた自宅で過ごし、最期を迎えたいと考える人は多いのではないのでしょうか。しかしながら、ひとり住まいであったり、老老介護であったり、また経済的な理由や、家族が仕事などで不在がちなどで、それがなかなか実現できないのが現状です。</p> <p>そこで、在宅医療について伺います。</p> <p>① 現在、伊豆市で在宅医療を受けているのは何人ぐらいいるのか。また在宅訪問をしてくれる病院数はどれくらいあるのか？</p> <p>② 在宅医療を受けるには、どのような手続きを踏んだら良いのか？</p> <p>③ 在宅医療にかかる費用は具体的にどのくらいか？</p> <p>④ 病院に入る場合と在宅医療を受けるのとでは、費用の違いはどれくらいですか？</p> <p>⑤ 1人住まいや老人世帯の場合、また同居家族が仕事を持っていて自宅でのお世話が思うように出来ない場合などはどうしたらよいのか？</p>
答 弁 を 求める者	
市長	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>⑥ 医療的なケアを受ける場合、自宅ではどの程度まで受けられるのか、家族向けの支援はあるか？</p> <p>⑦ 自宅で最期を迎えた時、訪問看護師などに看取りのお世話はしてもらえるか？</p> <p>以上伺います。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月10日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉山 武司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分・30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1. 若年層の選挙の 低投票率の改善 を考える	<p>地方自治は民主主義の学校ともいわれている、子育て、教育、医療、介護、防災、まちづくりなど、私たちの生活に最も身近な政治が行われているところである。その自治体の首長や議員を選ぶ選挙の投票率が年々低下している。過日行われた、群馬県知事選では投票率が29.65%と有権者の70%以上の111万3,210人が棄権した。更に8月6日に投開票が行われた埼玉県知事選の投票率は、23.76%で県民有権者の75%以上が棄権をした。こんな低い投票率では地域の希望に満ちた未来を描くことはできない。</p> <p>そうした中、若年層の投票率が他の世代と比較して異常に低く、特に20代の投票率は全世代を下回っている。半数以上の若年層の有権者が投票していない状況は、わが国の将来の民主主義にとって危機的な状況といえる。このようなことは以前から続いており、現に、伊豆市の選挙管理委員会事務局に残っている過去6回の国政選挙、県議会議員選挙、県知事選挙、伊豆市議会議員選挙では、令和3年10月の衆議院小選挙区選出議員選挙を始めとして4回の選挙で世代別では20代が一番低い、二番目が10代となっている、それに比べて60代、70代の投票率がいずれも高い。</p> <p>地域が活力を保つには多様な人材が政治に参画し健全な競争が望ましい。しかし若年層の低投票率により、国や地</p>
	答 弁 を 求 め る 者
	市 長 選挙管理 委員長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>方自治体の政策は、若年層の投票率が低いことを背景に若年層が期待する政策が少なく、所謂「シルバーデモクラシー」と呼ばれる投票率の高い高齢世代に関する施策が充実されてきたといわれている。</p> <p>アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン、韓国、日本の7か国の将来について、国による若者の意識調査では、「希望がある」と答えたのは、主な国が40%から50%なのに対して、日本においては、わずか10%程度に過ぎない。若者が未来に希望を抱くことができる社会を創造することを目的として、自治政治は何をすべきなのか、次の点について質問をいたします。</p> <p>① 行政と選挙管理委員会の役割分担について、市民の皆様に分かりやすく説明していただきたい。</p> <p>② 将来に希望が持てないから、政治に関心がわかないといった負の連鎖が続いています。近年の若年層の低投票率に関し、どのように認識され、結果としてどのような問題が潜在しているとお思いで、何をすべきなのか見解をお示してください。</p> <p>③ 近年、伊豆市では子育て支援の予算の充実が着々と進められていますが、伊豆市の未来を担う若者たちに向けた、短期及び中長期的な政策は、どのようなことが考えられますか。</p> <p>④ 若年層の政治への関心の低さについて、その原因をどのように分析し、投票率を上げるためにはどのような取り組みが必要であると認識しているのか見解をお示してください。</p> <p>⑤ 危機に瀕する民主主義を救うためには、政治参加を促進する市民運動の強化と、学校における主権者教育・民主主義教育の徹底が求められているといわれていま</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 外国資本の市内の土地の買収実態は	<p>すが、そのためには具体的にどのような取組みが考えられるのかお示してください。</p> <p>日本では WTO(世界貿易機関)が 1995 年に発効した「サービス貿易に関する一般協定」に基づき、外資による土地の売買は合法となり、グローバル化が進むことにより、外資の土地買収が活発化している。</p> <p>そのため弊害も生まれている。ひとつは過疎地域の土地が買収される安全保障の問題。もうひとつは地域が土地を活用した、産業の主導する権利を失うことである。日本は法整備の遅れから、諸外国にあるような土地の「所有権」の規制がない。そのため国は自由経済と安全保障の板挟みに陥っている。国は現状の実態把握のため、農林水産省が 9 月から農地の所有権を新たに取得する個人や法人に対して、国籍の報告を義務付ける方針を示した。市町村の農業委員会に許可を申請する時に、個人の場合は本人国籍や在留資格、法人の場合は役員等や 5%以上の株式保有者の主要株主・出資者の国籍を報告するよう求めることにした。</p> <p>更に、農地を所有する法人が農業委員会に毎年行う報告でも、新たに国籍を確認することにした。</p> <p>この目的は、経済安全と食料安全保障の両観点で外国人の農地取得の実態の把握を強化することにある。</p> <p>農水省は今後既存の農地についても、住民基本台帳と照らして国籍を把握する作業を進めるとしている。農水省は、以前から農業委員会に対して外国資本の動向を毎年調査してきたが、現在は住所が外国などの「外国人と思われる」にとどまっているが、中国資本などによる国土買収が問題となってきたため、農地法施行規則を改正することとした。</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>農水省の調査によると、農地における外資の取得状況は2017年から2021年の間で70.9ha。県内では2020年に富士宮市で中国資本による2.3haの取得があった。</p> <p>また、農水省は水源などの重要な森林が外資所有となることへの危惧が予想されることから、2010年に、2006年にさかのぼって実態調査を始めた。以降、都道府県を介して外国資本の購入実態を毎年調査している。2006年から2022年の累計は、320件の2,732haに及んでいる。県内の2022年に外資が取得した山林は熱海市の0.1haで取得者は中国の個人で利用目的は資産保有や住宅地ではなく不明とされている。</p> <p>土地の地目は不動産登記事務取扱手続準則により9区分に分けられている。</p> <p>以上を踏まえて、次の点について質問いたします。</p> <p>① 不動産登記事務取扱手続準則に定められている9区分別の外資の市内の土地取得状況を、国別、面積、個人・法人別、利用目的及び主たる地番について伺います。</p> <p>② 外資が取得した土地が転売を重ねると、どのような弊害が起こると予想されるのかお示してください。</p> <p>③ 現在まで、外資とトラブルはありましたか。ありましたら概要をご教示願います。</p> <p>④ 現在、あらゆる地目の土地の地下水の利用についてはどのような規制があるのか伺います。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	求 め る 者
支え合い助け合うことのできる地域社会の構築に向けた取り組み	<p>社会は高齢化と核家族化により、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しています。</p> <p>買い物や通院、あるいはゴミ出しなど、高齢者をはじめ自立が難しい人々も安心して暮らせる地域社会の構築が求められますが、次の取り組みについて市長の見解を伺います。</p> <p>① 路線バスなどの公共交通機関は、一部地域を除いて日中の移動手段としてほとんど機能していない現状があります。一方で高齢化による運転免許の返納など、自立した移動手段を持たない住民は、確実に増加すると思われます。</p> <p>今後ますます必要性が増す公共交通機関の整備について、どのように考えていますか。</p> <p>② 内閣府の調査によると、全国でひきこもり状態にある人は15～64歳で推計146万に上るとされています。引きこもりが長期化し、高齢の親(80代)と子ども(50代)が生活に困窮する「8050問題」も深刻になっており、厚生労働省では、引きこもりの人や家族を支援するマニュアル作りのために、全自治体を対象に実態調査を行うとのことですが、当市の現状と対策はいかがですか。</p> <p>③ 自宅や敷地などに大量の物品やごみをため込み、近隣トラブルや環境・衛生上の問題を引き起こしている「ごみ屋敷」問題が当市でも散見されます。ごみ屋敷の住人の多くは、高齢化や地域からの孤立、経済的困窮、判断力の低下などの、複雑な問題を抱えているケースが多いとされています。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>このため一時的にゴミを撤去しても、住人が抱える根本的な問題を解決しないと、再びごみがため込まれる恐れがあります。生活上の諸問題の解決も同時に目指す必要がありますが、どのように取り組みますか。</p> <p>④ 認知症高齢者は、2025年には約700万人に増加すると推計されており、当市でも確実に増加していると思われまます。認知症の対策は、医療・介護をはじめ、まちづくり、教育、生活支援、権利擁護など総合的な施策が求められます。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせるよう、家族や友人知人の認知症当事者への適切な対応とともに、地域住民が認知症への理解を深めながら、当事者の視点に立って社会の仕組みや環境を整えることが求められています。そこで、認知症の人や家族が、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、認知症に対する理解の促進・偏見の軽減、相談体制の整備など総合的な対策が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>⑤ 気候変動の影響などにより、台風や豪雨災害などの自然災害が激甚化・頻発化しており、人命を守るための対策強化が求められています。近年、気象庁では洪水情報をより正確に早い段階で予測する体制の強化を進めており、気象庁の最先端の情報を活用して、災害時に高齢者や障がい者の生命を守る個別避難計画や、事前に防災行動を時系列にまとめた防災行動計画（タイムライン）の策定を進めることが求められますが、進捗状況はいかがでしょうか。</p> <p>⑥ 支え合い・助け合う地域社会の構築のためには、地域力の向上が欠かせません。各地域で行われてきた祭りも徐々に行われなくなり、自治会役員のみならず手不足も深刻と聞きます。また、地域コミュニティの再生を目的とした地域づくり協議会も、自治会との良好な協力関係が進んでいない地域もあると聞きます。安心して快適に暮らせる地域づくり構築のための課題と、今後の取り組みについて見解を伺います。</p>	

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 5年 8月 10日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u>) ・ 分割) ※発言予定時間 (<u>20分</u>) ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	答 弁 を 求 め る 者
1. 市内経済の循環 について	<p>市長</p> <p>プレミアム商品券の取り組みは、市内経済の活性化に大きく貢献する政策だと思います。</p> <p>交付金や補助金といった外からきたお金(外貨)が、市内の商店や飲食店などで消費され、さらに材料費購入など生産者にも波及効果が期待できると思います。</p> <p>つまり、外からきたお金(外貨)が増えて、市内でお金が循環している。それだけ、豊かになっているということだと思います。</p> <p>民間で考えるなら、宿泊施設を多くのお客様にご利用いただくことで、外からきたお金(外貨)が増えていく。桂流コシヒカリの例もあるとおり、経営者の理解や生産者の努力により、食材なども地元のものが使われることが多くなっている。外からきたお金(外貨)が地元で循環していきます。多くのお客様に来ていただければ、施設の改修も必要になってきます。施設の修繕は、地元の工務店や大工さんが担う。こうやって、市内経済が動いているのではないのでしょうか。</p> <p>極端な例えですが、市外で使っていた1万円を市民全員が伊豆市内で消費すれば、約3億円が市内で使われることになります。1家4人なんとか400万円の収入があればなんとか暮らしていけると考えると、75人を雇用することができる経済の余裕がうまれてくるのではないのでしょうか。</p>

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. 部活動の地域移行について</p>	<p>外からきたお金(外貨)を、いかに市内に循環させるかが市民のみなさまに豊かさを感じていただくことにつながると考えています。</p> <p>こういった制度、仕組みづくりを政策に反映していくことが大切だと考えます。</p> <p>質問します。</p> <p>①プレミアム商品券のほかに、力を入れている市内経済が循環する仕組みについてご紹介ください。</p> <p>②伊豆市内に交付金や補助金の効果が出ること、外貨が市内に循環することを最優先に考えたときに、市内業者だけで、様々な入札や契約をすることができない理由を教えてください。</p> <p>部活動の地域移行について情報が少なく、指導者である自分たちはどのように関わったらいいのか、また、これからどのように進んでいくのかを知りたいと思っています。教育委員会のみなさんと情報を共有し、子どもたちの健全育成に役立ちたいと考えています。</p> <p>質問します。</p> <p>部活動の地域移行について、現在の取り組み、目標としている仕組みやかたち、現在すでに動きだしている目標とすべき全国の先進事例がありましたらご紹介ください。</p>	<p>教育長</p>

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和5年8月10日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.減災効果を高める地震・津波対策 (アクションプログラム2013の成果)	<p>平成23年3月に発生した東日本大震災では、従来の想定を超える巨大な地震と津波が発生したことから、国は今後の地震・津波の想定に当たり、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を検討していくべきとの考え方にに基づき、平成24年8月に人的・物的被害の想定等を公表しました。</p> <p>伊豆市の南海トラフ沿いに予想される地震で発生する津波高はレベル2の地震で、最大津波高 T.P.+10m、平均津波高 T.P.+8mで、想定死者数は最大 1,400人と想定されました。</p> <p>静岡県では、第4次地震被害想定及び地震・津波アクションプログラム2013を平成25年6月に公表しました。このプログラムは、人命を守ることを最も重視し、ハード・ソフトの両面からできる限りの対策を組み合わせることで実施することにより、第4次被害想定で推計された被害を8割減とするために今後10年間で実施するハード・ソフト施策を取りまとめています。</p> <p>静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013の成果が本年6月に公表されたので、この10年間の伊豆市の取り組みの総括と次の10件の進捗について伺います。</p> <p>① 住宅の耐震化や家庭内の地震対策の促進 ② 地域の合意形成に基づく津波対策施設 (海岸) の高さ整備 ③ 地域の消防力の確保 ④ 防災人材の育成や意識啓発 ⑤ 県総合防災アプリ・伊豆市情報メールの活用状況</p>	市 長 教 育 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 個別避難計画の策定状況	<p>⑥ 公立学校の防災体制の強化・推進</p> <p>⑦ 自主防災組織による地域防災訓練の実施率</p> <p>⑧ 避難所運営体制の強化・充実</p> <p>⑨ 飲料水・食料等の備蓄状況</p> <p>⑩ 迅速かつ着実に復旧・復興を成し遂げる事前復興計画の準備</p> <p>2013年の災害対策法の改正で要支援者の名簿作成が市町の義務とされたが、個別避難計画の作成は任意でした。しかし度重なる豪雨災害や全国的な作成率の低さが課題で、2021年の法改正で努力義務となりました。</p> <p>国は福祉専門職の参画が必要であると判断し、早期作成のために優先度の高い人は市町が作成を支援し、改正法施行からおおむね5年程度での完了を求めているとのようですが、計画作成については、多くの自治体からコロナ禍、人手不足の現場に対する過重な負担であるとの声も聞いています。</p> <p>7月14日の伊豆日日新聞に掲載された三島田方を含む8市町の作成に向け、静岡県と意見交換が行われたとの記事によると多くの課題が挙げられたようなので参加市町の課題等の意見と豪雨災害に加え、津波の発生が危惧される伊豆市の取り組みについて伺います。</p>	市 長